

# 昭和57年度 和歌山県文化奨励賞

お お た かず お  
太 田 一 夫

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和7年

## ◎業績及び経歴

少年時代から美声で音楽に対する興味もあったが、戦後の混乱期であったため楽譜、ピアノを独学で修得して、大阪音楽短期大学(現、大阪音楽大学)に入学。持ち前の美声とピアノの実力で昭和28年同校声楽科を首席で卒業し、同年、全国新人演奏会に西日本代表として出場する。

その実力を認められて関西歌劇団に所属するところとなり、「修禅寺物語」の僧、「夫婦善哉」の種吉、「卒塔婆小町」の巡査役等数多く歌劇に出演。特に邦人の作品に意欲を燃やす。その間、武智鉄二、坂東三津五郎、中村富士郎の諸氏に演技指導を受け、朝日放送、芸術祭参加作品ミュージカル「夢の三十石舟」で茂山千之丞、森光子らと共演し、主役の「常はん」を演じる。

昭和38年、素朴な人情のある和歌山を本拠とし歌唱指導や音楽普及活動を行う。

昭和41年、和歌山混声合唱団の組織化の中心としてその創設に活躍した。

黒潮国体(昭和46年)の前年祭において和歌山県民謡の歌唱指導に努めた他、開会式の幼児2,000余名の演戯によるマスゲームのための音楽を作曲する。

現在、大阪明星学園の講師を務め、和歌山混声合唱団、吹上白菊コーラス、雄湊婦人会コーラス、和歌山女声コーラスの指導にあたっているほか、和歌山県出身新人演奏会選考委員を務めている。